

国体デモスポで種子島を縦断！

親子ふれあいウォーク 2023

種子島縦断！親子ふれあいウォーク2023（燃ゆる感動かごしま国体デモンストレーション競技※）が、5月27日から28日にかけて開催され、2日間で合計51・8キロの道のりを踏破しました。

初日は町長も参加し、西之表港を出発して一般国道58号を通り、到着地点の種子島中央体育館を目指しました。2日目は、主要地方道西之表南種子線を通り、種子島宇宙センターを目指して元気いっぱい縦断する親子の姿がありました。



（※）燃ゆる感動かごしま国体デモンストレーション競技としての開催は27日のみ。

平均落札額 47万8千円

種子島子牛せり市

	性別	頭数	5月平均	前回対比	前年同期対比
中種子	めす牛	78	450,577	△ 30,830	△ 26,001
	去勢	134	505,948	△ 110,036	△ 29,493
	計	212	485,575	△ 65,972	△ 28,438
市場全体	めす牛	236	441,475	△ 54,062	△ 46,350
	去勢	377	501,751	△ 125,852	△ 35,459
	計	613	478,545	△ 89,247	△ 39,564

※単位：円（税抜き価格、速報値）



種子島子牛せり市が、5月25日から26日にかけて種子島家畜市場であり、平均落札額は47万8千円となりました。

地域おこし協力隊通信 (No. 77)

初めての「たけんこかぎ」

「たけんこかぎ」、初めて聞いたとき頭の中が「？」でいっぱいでした。「タケノコの匂いがかぐ？それって何が楽しいの？」とモヤモヤしていました。

謎めいた「たけんこかぎ」に先日、とうとう参加してきました。竹屋野ニガダケ生産組合の方々と一緒に竹屋野の山の奥へと進むと、海とオーギ畑が見える見晴らしのいい景色から、空が急に狭くなつて竹に囲まれたジャングルのような景色に移り変わります。竹が生い茂る中、見渡しても人が入っていきそうな場所はありませんが、その中を組合の方は足場を作ってどんどん進んでいきます。私も負けじと、竹と格闘しながら中へと入り込んでいきます。組合のお母様が「こっちにいいのが生えてくるからおいで！」と教えてくれるのですが、その場所にとどり着くのに、2分たけんこを収穫するのに数十秒。なんといどんくささです。お母様たちは散歩をするかのような早さで竹やぶの中を進み、ささっとたけんこを収穫してどんどん先へ進んでいきます（たけんこセンサーでも付いているのか？！と言いたくなるくらい見つかるのが早い）。そんな私も1時間後にはたけんこをささっと収穫できるようなってしまいました。見つけた竹やぶの中を

歩くのは、まだ時間がかかりませんが、山の中はどこも同じ景色で遭難してしまいうるのに、地元の方々は感覚で自分どこにいるかわかるのですね。最後はスタート地点に戻ってこれました。

たけんこかぎの後は、皮を剥いて切って包装する作業に移ります。私は皮をむく担当になりました。ここでも経験の差が顕著に表れ、私がたけんこを一個むき終わる頃に、組合の方は雑談しながら4個5個とむき終えているのです。しかも凄くきれいに。このままでは手伝いではなく「邪魔しに来てしまう」の方がびったりきてしまうので、より経験を積んで上手になりたいです。

収穫したたけんこを、お裾分けしていただいたのでその日のうちに味噌汁でいただきました。自分で収穫したたけんこは、より一層おいしく感じました。お店でなんとなく食べていたニガダケの天ぷらも、収穫の時の苦労を思い出すとこれまで以上にありがたみを感じられそうです。

大山 愛



皮むきの様子
竹屋野ニガダケ生産組合にて